

福島市小鳥の森通信

# しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう 114

## エナガ

分類 スズメ目 エナガ科

大きさ 13.5cm スズメより小さい

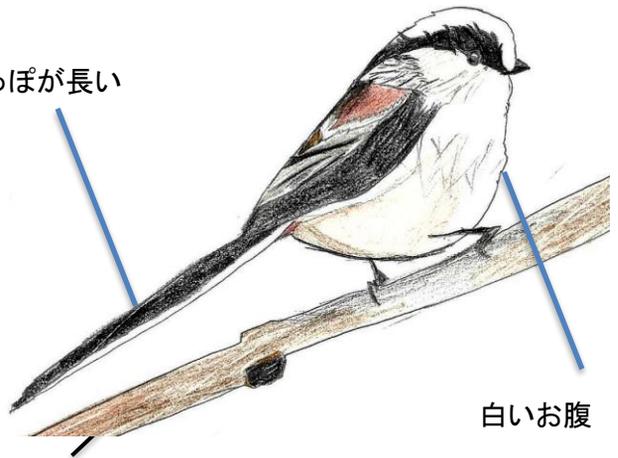
なき声 ツリリ、ジュリ

小鳥の森でよく見られる時期  
一年中

小鳥の森で見られる場所

・シジュウカラの小径など林の中

尾っぽが長い



白いお腹

さえこさん がかいてくれました。

秋のはじめ

森のココに注目

### 秋の生きもの(9月～10月)

秋は「夏」から「冬」へとかけあしで変化する季節。野鳥は北から南へ移動し、草木は種子を実らせませます。ツバメやキビタキは南の国へ、ハクチョウやカモは北の国から長い距離を飛んで渡ってきます。エノキやガマズミの実が熟し、きれいに色づきます。また、秋を待ちわびて咲く花やコオロギなど鳴く虫もたくさん見られるようになります。

エノキの実



ガマズミの実



### 気をつけよう！

秋の森では、刺されると大変な「スズメバチ」が活発に動きます。いち早く真っ赤に紅葉する「ヤマウルシ」は触ると肌がかぶれます。森の中へ入る前にはレンジャーに声をかけ、注意事項を聞いてくださいね。

## アメリカザリガニ「さよなら作戦」を実施

ネイチャーセンターの下には、水辺の小鳥カワセミが姿を見せてくれる小さな池があります。いつからか、本来、日本にはいなかったアメリカザリガニやウシガエル（外来生物と言います）が繁殖するようになり、もともと福島にいたトンボのヤゴや地元産のカエルなどの暮らしをおびやかすようになりました。

そこで小鳥の森では、水辺の生きものを守るため、訪れる子どもさんたちにアメリカザリガニを釣りあげてもらい「さよなら作戦」を計画しました。

暑期中、コロナ対策をしっかりと済ませたお友達に参加してもらい、たくさんアメリカザリガニを釣りあげてもらうことに成功しました。

ご協力ありがとうございました。

今後は、池の水を抜くことで残りのザリガニやウシガエルを取り除く作業を行う予定です。



## スタッフだより

### 小鳥をさがせ！



木の葉が茂り、見通しが利かなくなった夏の森では、小鳥たちに出会うチャンスが少なくなりましたね。

鳴き声を頼りに鳥をさがそうと思っても、セミの声はにぎやかだし、そもそも鳥たちが人の耳に聞こえるようには鳴いてくれません。

さて、秋が深まってくると赤色や黒色に染まった木の実が目立つようになります。木の実が色づくのは、人の目を楽しませるためではなく（とは言っても楽しいですが）、小鳥たちに「この実を食べてください」とお願いする、植物からのメッセージなのです。ですから、これからの季節は、森の中で小鳥に会いたかったら、色づいた木の実に注目してください。

その近くで待っていると・・・、ほらやってきましたよ！

レンジャー 弦間一郎（げんま いちろう）

## お知らせとお願い

### 小鳥の森の新型コロナ対策

小鳥の森では、深刻さを増す新型コロナウイルスのまん延防止対策として、引き続きネイチャーセンター入館時の体温測定、アルコール消毒、マスクの着用をお願いします。

また、毎月の福島市政だよりなどでお知らせしています「イベント」は、最新のコロナまん延防止対策の一環として中止や延期をする場合がございます。イベントに参加ご希望の方には、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、学校等で団体利用を希望される場合は、事前に打ち合わせをお願いします。

手指の消毒に



ご協力ください

マスク着用を



実施しています

\* 小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページで**カラー版**をご覧ください。

\* 園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2021年9月号No.425／企画・発行：福島市小鳥の森／日本野鳥の会ふくしま